

調査研究事業【平成22年度継続事業】

(2) 課題解決研究 (5件)

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的	基金助成額
1	北里大学海洋生命科学部 准教授 林崎 健一	<p>題目：湾内環境モニタリングシステムの有効活用に関する研究</p> <p>目的：湾内の漁業生産に影響を与える水温や風などの環境要因を低予算でリアルタイムにモニタリングする3次元観測網を開発し、三陸域の各湾に配備することにより、湾内の水隗の移動パターンを明らかにするとともに、水温変化とホタテ斃死や植物プランクトンの生産との関係について検討を行う。</p>	745,090
2	北里大学海洋生命科学部 講師 山田 雄一郎	<p>題目：岩手県沿岸におけるサケ幼稚魚の餌料環境の解明</p> <p>目的：放流稚魚の生残率を増加させ親魚の回帰率を高水準に保つために、動物プランクトンの群集組成と生物量の季節的变化を精査し、沿岸域におけるサケ幼稚魚の餌料環境を解明する。</p>	404,960
3	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	<p>題目：三陸沿岸におけるミズクラゲ類の生態について</p> <p>目的：漁業被害を与えるキタミズクラゲおよびミズクラゲの野外生態について、定置網漁船などへの乗船調査や港湾岸壁調査等を行い、明らかにする。</p>	1,000,000
4	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	<p>題目：三陸沖日本海溝海底の亀裂中に存在する海底ゴミと現場微生物に関する調査</p> <p>目的：三陸沖日本海溝側斜面に発見された海底の亀裂の底に蓄積されたゴミの種類と分布を調べ、現場環境に生息する微生物の多様性を明らかにすると同時に、現場のゴミ成分を分解できる能力を持った有用微生物を分離する。</p>	573,150
5	岩手大学工学部 教授 成田 榮一	<p>題目：廃棄貝殻を原料とする新しい環境浄化材料の開発</p> <p>目的：養殖水産業で大量に発生する廃棄貝殻の有効利用を背景とし、これを原料に簡便な処理を施すことによりラジカル発生剤を得る方法を確立し、その発生機構を明らかにするとともに、これをシックハウス成分のホルムアルデヒドなどの環境汚染物質の分解に利用しようとするもの。</p>	1,000,000
基金助成額計：3,723,200円			